

授業概要

学校図書館におけるメディア(情報資源)と、その管理運営方法の理解を目指して講義と指導をおこないます。前半は学校図書館メディアとその管理運営について講義とディスカッションをおこないます。後半は学校図書館における情報資源組織に関して、日本十進分類法や日本目録規則などの利用法を中心に演習指導します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	メディアと情報資源
第3回	学校図書館における情報資源の種類
第4回	印刷メディア 1.図書
第5回	印刷メディア 2.雑誌、新聞、その他
第6回	非印刷メディア、電子メディア
第7回	情報資源の組織化
第8回	主題目録法(日本十進分類法) 1.本表、相関索引
第9回	主題目録法(日本十進分類法) 2.補助表
第10回	主題目録法(日本十進分類法) 3.分類規程
第11回	主題目録法(基本件名標目表)
第12回	記述目録法(日本目録規則) 1.記述
第13回	記述目録法(日本目録規則) 2.標目
第14回	記述目録法(日本目録規則) 3.排列、所在記号
第15回	情報技術と資料組織法
第16回	筆記試験

到達目標

司書教諭の職務につくことを前提に、次のことへの理解を目指します。

1)学校図書館が扱う情報資源の種類と性質、2)学校図書館における情報資源組織化の意義と具体的作業、3)情報資源組織化に用いるツール(分類法、目録規則、件名標目表、著者記号表など)の基本的な使い方。

履修上の注意

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

「学校経営と学校図書館」の履修を済ませていることが望まれます。

予習復習

毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

授業中に終えられなかった課題は、次回までにおこなっておいてください。

評価方法

課題レポート(50点満点・必須)および期末テスト(50点満点・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への参加など)および自由提出のレポートを加え、すべてを足して51点以上を合格とします。

履修者数が少ない場合、期末試験をレポートに代えることがあります。

テキスト

(後半必携) 和中幹雄ほか. 情報資源組織演習. 日本図書館協会, 2014, 270p., (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ, 10) ISBN 978-4-8204-1317-2.

(参考) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.

その他授業中に印刷資料を配布します。